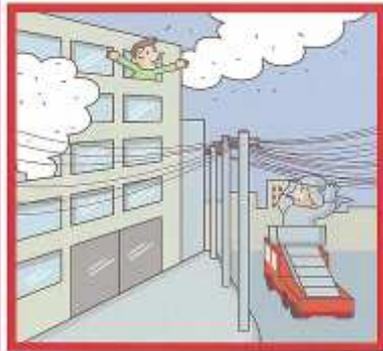


◇電線共同溝の効果

都市防災機能の向上

電線類の地中化を図ることにより、地震や台風などの災害時に、電柱が倒れたり電線が切れたりするなどの危険がなくなります。

また、倒れた電柱に道をふさがれることもないため災害時における緊急車両の通行にも支障がなくなります。



安全で快適な通行空間の確保

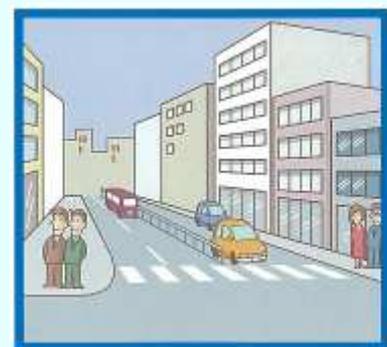
歩道上の電柱は道幅を狭め、通行の妨げになります。

電線類の地中化を図ることにより、歩道が広く使え、歩行者だけではなくベビーカーや車椅子の人にも安全で快適な通行（バリアフリー）が可能となります。



都市景観の向上

電線類の地中化を図ることにより、地上にはりめぐらされた電線や林立する電柱がなくなり、美しい都市景観が形成されます。



情報通信ネットワークの信頼性向上

電線類の地中化を図ることにより、情報通信ネットワークの基盤となるケーブルが地中に埋設され、地震等の災害時における被害を軽減し、ネットワークの安全性・信頼性を向上させます。



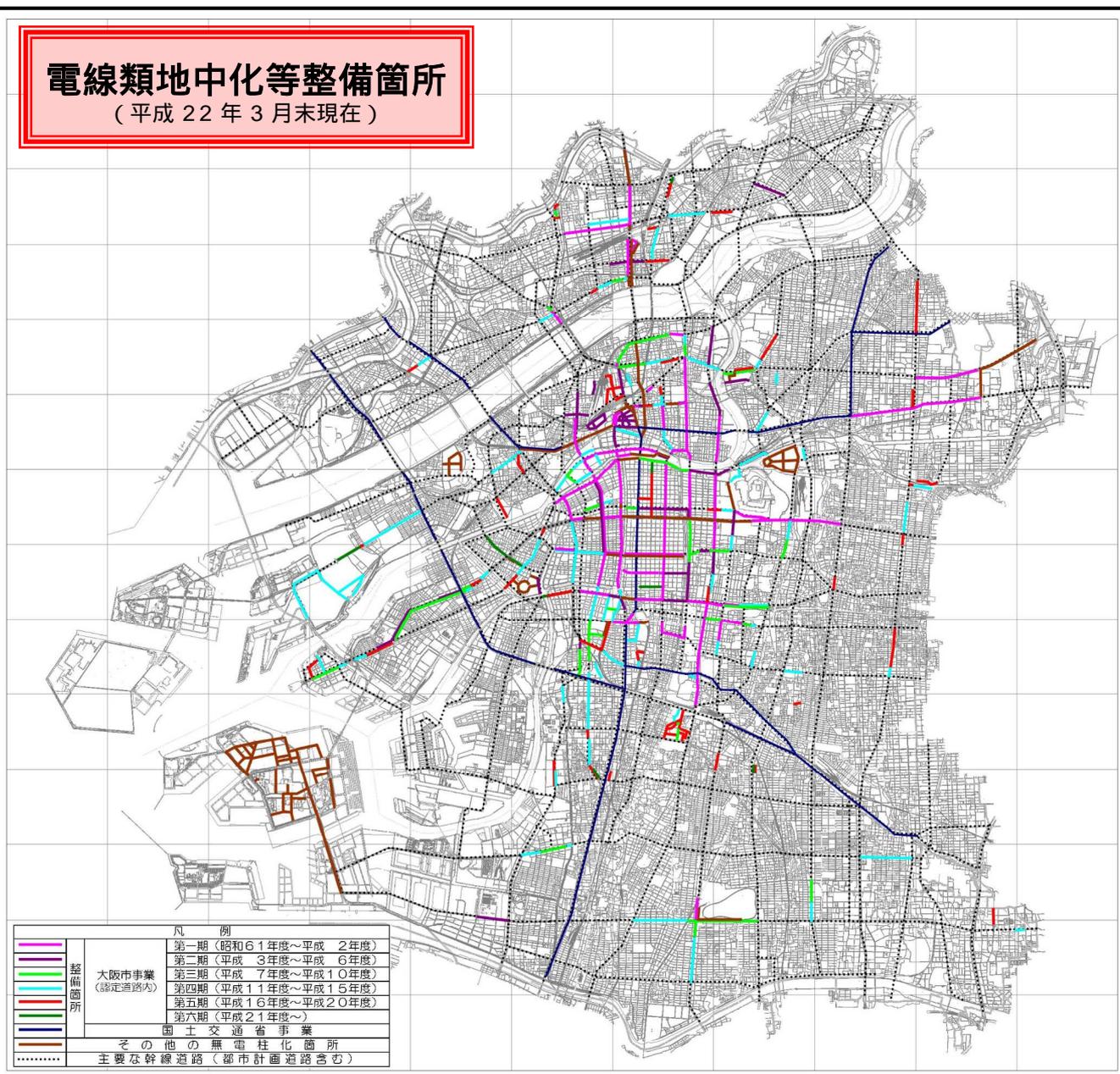
◇現状と今後の予定

幹線道路（歩道のある4車線以上の道路など）は多くの人や車が通行し、人の目にふれる機会の多い道路であり、まちの景観形成や災害時の避難や救援活動のための空間として重要な役割を担っています。このため、大阪市では、主要な幹線道路について、主に地中化方式による無電柱化を重点的に進めています。

また、こうした幹線道路での整備進捗などを考慮しつつ、幹線道路以外についても、良好な都市景観の形成等が特に必要な地区を中心に、路線の実情に応じた無電柱化を進めていくこととしています。

電線類地中化等整備箇所

（平成22年3月末現在）



この地図は、大阪市計画調整局発行のデジタルマッピング地形図を使用したものです。（承認：平成21年8月20日 計第423号）